

・観光消費額については本来地元にとどれだけ貢献しているかをはかるべきで、その意味では地元調達率も意識する必要があると思います。

・観光満足度調査等の結果が、どのように具体的に反映されているのか、フォローと検証が必要だと思います。

・受入体制の充実の項で記したように、「観光創造ビジョン岸和田」や観光政策方針を市民にさらに啓発することが必要と思います。市民の「観光創造ビジョン岸和田」と観光政策方針の市民への啓発と市民の認知度を評価できる指標を設定することを考えたいと思います。

・人件費の負担の軽減のため、「何種類の色のシールと貼り付けボード」をさらに活用し、お客様に調査したい案件について、シールをボードに張り付けてもらう。(無人化対応)

・観光客入込客数について、南海電鉄や JR 西日本に協力いただき、岸和田市内の各駅の「定期外」人数を把握する。(例えば、だんじり祭り期間中の南海岸和田駅における「定期外」人数の把握 など)

・だんじり祭りを活用した持続可能な地域づくりのための事業連携協定に基づく、JTB 大阪第一事業部の活用